

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		個別排水処理施設設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	水道局
	施策	10 水環境の保全				所属課	上下水道課
	基本事業	30 水質の浄化				所属班	管理工務班
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市個別排水処理施設条例合志市個別排水処理施設条例施行規則 成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : -
	下水	2	1	1	10246		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	公共下水道事業及び農業集落排水事業区域外の区域の世帯に合併浄化槽(家庭用排水処理施設)を設置する事業である。公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外の住民から要望があったことおよび平成16~17年度にかけ議会で質問されたことを受け開始した。 本事業は、公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外の既存家屋が対象であり、新築家屋は対象としない。平成23年度から設置整備を行う事業と既に設置した合併処理浄化槽の維持管理を行う事業とに分け役割を明確化したことに伴い、名称を個別排水処理施設整備事業に変更した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①現地調査 ②設置計画決定通知 ③設計委託契約事務 ④合併処理浄化槽設置実施設計書の作成・発注 ⑤工事請負契約締結・設置工事 ⑥土地使用借契約締結 ⑦竣工検査 ⑧支払い事務
【主な予算費目】	工事請負費、委託料
【意見や要望】	議員や事業対象者からは、合併浄化槽処理水の放流先を確保してほしいとの意見や要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	ホームページ等により、制度の周知を行った。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		申請に基づき、対象者設置希望調査及び現地確認を行い、個別排水処理施設条例に則り、合併浄化槽の整備を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:申請箇所の現地調査件数		→イ:設置申請件数の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
設置申請者		→ア:申請件数 (単位) 件
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・水洗化が可能となる・生活環境の改善		→ア:設置件数 (単位) 件
		→イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
合併浄化槽を設置することにより、生活環境が改善されるため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア 件		0	0	2	2	2	2	2	2
	イ									
②対象指標	ア 件		0	0	2	2	2	2	2	2
	イ									
③成果指標	ア 件		0	0	2	2	2	2	2	2
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			232		40	40	40
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円			1,268		2,960	2,960	2,960
		(A)事業費計	千円	0	0	1,500	0	3,000	3,000	3,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	1	3	3	3	3	0
延べ業務時間		時間	112	10	150	293	150	150	0	
(B)人件費計	千円	455	39	597	1,167	597	597	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	455	39	2,097	1,167	597	3,597	3,000	3,000	

事務事業名	個別排水処理施設設置事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 合併浄化槽設置の問い合わせがあるため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 区域外における合併浄化槽未設置の箇所があるため成果の向上余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 下水道計画区域外の地域で、費用対効果を検討した結果、整備区域として計画されなかった箇所が対象であり、公共下水道事業、農業集落排水事業との統廃合・連携はできず他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 設置費用については、工事請負費、委託料(実施設計)であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行うことでコスト削減を図っているため削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小の人員で、他の事業との兼務で当たっており、これ以上の削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 他の下水道事業同様の応分の受益者負担 (㎡当り330円) があり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 下水道の整備が進み、下水道計画から漏れた区域の水洗化及び生活環境改善のために市が合併浄化槽を設置するものであり、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

当該事業は申請に基づいて実施する事業であるため、目標達成のため周知啓発の徹底を図る。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						